

## まちづくり 明るく安全な市の 顔を

### 東口駅前広場整備事業

ロータリーの暫定整備が進んだ上福岡駅東口に新たに歩道橋の設置が計画されます。市の顔となる駅前だけに期待が高まっています。

**問** 事業の今後の方向性は。

**答** 現状の駅前広場は暫定のものだが、歩行者の安全を確保するために、上福岡駅舎につながる歩道橋整備を計画する。

**問** 平成30年度中には視覚に訴えるような資料を作成していきたい。

**答** 東武鉄道との協議はどのように行うのか。  
**答** 歩道橋の整備には駅舎の一部改良も含まれるので、どのように工事を進めるか細部の協議は行っていく。

**問** どのような形になるのか。そのイメージは。



東口駅前広場整備

## 防災

### 水害に対する備えを新たに

#### 道路等営繕保守事業

水害時に、発生した場所での迅速な排水処理を行い、被害を最小限に抑えるために排水ポンプ車が購入されます。



排水ポンプ車

**問** 排水ポンプ車の排水能力は。

**答** 昨年の台風第21号の際に国土交通省に要請し、設置されたものと同型の車両である。車両は8トンクラス、排水能力が1分当たり5m<sup>3</sup>のポンプを合計6台積載している。また、夜間作業も出来るように照明も完備する予定。

**問** 導入に当たり扱う人材の研修は。

**答** 排水方法等の研修を、作業を行う道路課の職員を対象に実施する予定である。

**問** 県内で排水ポンプ車を保有する自治体はあるか。  
**答** 購入予定の自治体は、本市のほか川越市となっている。

## まちづくり

### 運動公園の整備

#### 公園管理事業・公園新設事業

ふじみ野市運動公園と新河岸川を挟んだ福岡高校跡地の第2運動公園が、それぞれ整備されます。

**問** ふじみ野市運動公園の整備内容は。

**答** ふじみ野市運動公園については、弓道場を解体してプール跡地を加えた土地に、フットサルコートと、スリー・バイ・スリーのバスケットボールコートの整備を実施する。

また福岡江川をはさんだ南側拡張部の造成工事等を予定している。  
**問** 福岡高校跡地の第2運動公園の整備工事の内容は。



第2運動公園

**答** 第2運動公園については、多目的球場や多目的広場、こども広場を整備し、あわせて利用者のトイレも整備する。

## 防犯

### 振り込め詐欺被害防止への対策を

#### 防犯推進事業

市内で増加している振り込め詐欺被害を防ぐため、電話の着信時に自動でアナウンスをし、録音する機器の購入に対し補助が行われます。



その電話、振り込め詐欺かも

**問** 振り込め詐欺被害の状況は。

**答** 県内では、昨年1年間に1233件、19億536万円の被害が発生し、千件を超える被害が毎年のように発生している。また市内の被害件数は年々増加している。警察への通報は、昨年1年間で218件が確認されている。通報されない件数も含めると、かなりの詐欺電話がかかっている。

**問** 新たな防止策に期待

する効果は。  
**答** この対策機器は、電話の着信前に相手に対し自動アナウンスが流れ、会話を自動録音する。犯人は声を録音され、証拠が残ることを嫌い電話を切る。振り込め詐欺の最初の接触は、自宅に電話がかかってくるところから始まる。そこで電話に対する策機器を取りつけることで、犯人との接触を避け、被害を未然に防ぐことに大きな効果が期待できる。

## 子育て

### 産後うつに対するケア事業

#### 母子保健包括支援事業

産後うつ予防や早期発見のために、質問票によるスクリーニングを実施し、医師や臨床心理士、保健師等の専門職による相談事業が充実されます。

**問** これまで実施していた事業との関係性は。

**答** これまでは、主に小さく生まれた赤ちゃん等の母親を対象に質問票を用い支援していた。今後は事業を通じて、全ての産後の母親を対象としていく。産後うつ質問票をもとに、必要な人には臨床心理士や医師などとの

相談を行っていく。  
**問** デリケートな問題だが、家族に対する伝え方の工夫は。

**答** これまでも本人の状況に配慮しながら職員が家族に伝えたり、本人から状況を家族に伝えてきた経緯がある。今後も変わりなく対応していく。



産後うつケア

## まちづくり

### 旧上福岡学校給食センターの跡地活用

校舎不足、防災倉庫の設置など、さまざまな行政課題に対応していくため、旧上福岡学校給食センター跡地が複合的に活用されます。

**問** 旧上福岡学校給食センターの跡地活用は。

**答** 児童数が増加している上野台小学校校舎を増設する。

保管スペースがなかったため、分散して備蓄している防災資機材を集中管理する防災倉庫を建設し、不足しているフクトピア用駐車場と行政効率を高めるための公用車用駐車場も整備する。

また、現在のの上野台公園を庁用車の駐車場として整備するため、同程度の公園を計画する。  
財源としては、主に合併特例債など有利な起債を活用する。



旧上福岡学校給食センター